

6月3日

かねた
金田テルさん 100歳
(水沢字高網)

百寿



北上市相去町で二人兄妹の長女として生まれ、19歳ごろに結婚。娘2人をもうけ、孫2人、ひ孫4人に恵まれています。料理が得意だったというテルさん。食べることも大好きで、特に甘いお菓子が好きだそうです。百歳の誕生日は家族みんなでケーキを食べて、笑顔で百寿をお祝いしました。

6月5日

新型コロナウイルス集団
ワクチン接種始まる

市政



市は、一般高齢者向け新型コロナウイルスワクチン接種の集団特設会場を市内2カ所に設置し、接種をスタートしました。初日は、2会場合わせて約600人の市民が接種。今後は、新たに市文化会館（Zホール）に平日の特設会場を設置するほか、接種ブース増などの対応により、ワクチン接種の早期完了を目指します。

6月7日

金札米 100周年の節目に
大黒像発見

イベント



昭和初期、江刺金札米に封入されていた大黒像が江刺稲瀬の旧宅で発見されました。江刺産米は当初、赤札を付けて販売しましたが、人気の高まりとともに類似品が横行。金札を付け、大黒像を封入することで本物の証しとしました。JA江刺の小川節男組合長は「100周年に合わせた発見で励みになる」と語りました。

6月13日

久々のランで、走る楽しさ
再確認

イベント



2年連続で中止となっていたいわて奥州きらめきマラソンを盛り上げようと、歴史公園えさし藤原の郷で「園内を走ってみよう えさし藤原の郷RUN ラン! らん♪」が開催されました。市内を中心に約140人が参加。久しぶりに開催されるランニングイベントで、参加者は園内を1周する2kmのコースを楽しみました。

6月13日

2年ぶりに商人まつりが
開催され街中にぎわう

イベント



第70回水沢商人まつり（奥州商工会議所主催）が感染症対策を取った上で開催されました。昨年は新型コロナウイルス感染防止のため夏・秋ともに中止。2年ぶりとなった今回は「奥州ビッグバンフェスタ」（水沢青年会議所主催）も同時開催され、訪れた人は買い物やイベントを楽しみ、久しぶりの祭り気分を堪能しました。



6月16日・18日

農家と飲食店のコラボを支援

市政



市は、奥州6次産業化推進事業補助金と新規事業である農家と飲食店のコラボトライアルの事業説明会を開催しました。説明会には市民ら約20人が参加し、市6次産業化アドバイザーの岩手支援(株)鈴木勝美代表取締役からの具体的な事例を交えた事業説明に、熱心に耳を傾けていました。

6月17日

地域活性化へ役立てて欲しいと
売上金を寄贈

市政



水沢商業高校は、模擬株式会社「ござえんちゃプロジェクト」の昨年度の売上金の一部を奥州ふるさと応援寄附（ふるさと納税）として市に寄贈しました。同社は同校商業科の生徒と教員が株主となり、商業実習を通じたスキルアップのために運営。寄付金を活用し、後日、温湿度計が市内福祉施設へ届けられます。

6月20日

カヌーシーズン到来
本番に向け準備万全に

イベント



東京オリンピックを控えた海外選手の合宿受け入れを前に、奥州いさわカヌー競技場で会場設営準備が行われました。設営には、県カヌー協会や奥州カヌー愛好会らの約30人が参加。ゲート設置のためのワイヤ張りや草刈りなどの作業を行い、汗を流しました。8月から大会開催予定で、激戦が繰り広げられます。

6月22日～9月12日

先人高野長英の生涯を
企画展で紹介

イベント



高野長英記念館では、開館50周年記念ミニ企画展「シーボルトの日本研究を援助し、語学力で頭角を現した長崎遊学時代」を開催しています。今年開館50周年を迎える同館では、四季を通じて企画展を開催。蘭学を学び、真理を追い求めた長英の生涯を紹介します。秋の企画展では重要文化財を公開する予定です。

6月23日

若手職員が社会人に必要な
スキルを学ぶ

イベント



県内企業の新入社員・若手社員などを対象に、「社会人力向上セミナー」が感染症対策をした上で開催されました。市内企業を中心に20社28人が参加。主体性を持ち、地域で活躍できる社員を目指し、実践を交えたコミュニケーションスキルや相手を理解するための話の聴き方などを学びました。

6月26日

思い出の古里で落語披露

イベント



江刺寄席「さなぶり演芸館」が江刺体育文化会館ささらホールで開催されました。衣川出身の落語家桂枝太郎さんや、両親が江刺出身の春風亭昇咲さんらが出演。枝太郎さんは、学生時代に同会場で落語を鑑賞したことが入門するきっかけになったことを披露。プロの噺家の軽妙な語り口に、会場全体が笑いに包まれました。